

招集期日	令和4年9月21日(水)	会議の場所	301会議室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後1時30分	開会者
	閉会の時刻	午後2時20分	閉会者
委員出席状況			
氏名	摘要	氏名	摘要
秋本文子 教育長	出席	平野博之 委員	出席
柿沼拓弥 教育長職務代理者	出席	岩崎智子 委員	出席
高瀬賢一 委員	出席		
議事参与者及び 説明のための出席者	細村学校教育部長	清水生涯学習部長	須永教育総務課長
	田中学校給食センター所長	米花生涯学習課長	佐藤スポーツ振興課長
議事参与者及び 説明のための出席者	今成学校教育課長		根岸図書館長兼郷土資料館長
	教育総務課総務係 小林	傍聴人1名	
書記名			
会議事件名	てん末		
開会	教育総務課長	本日、1名の傍聴人がある。	
	教育長	傍聴人の入室を許可する。	
		(傍聴人 入室)	
		9月定例教育委員会を開会	
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の3分の2以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件は無いため、全て公開としてよろしいか。	
		異議なしの声あり	
日程第1 前回会議録の承認	教育長	8月定例教育委員会の会議録について諮った。	

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 施設整備計画の事後 評価について</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p> <p>報告事項1について、教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>国の補助金である学校施設環境改善交付金を活用して実施するエアコンの設置、屋内運動場の非構造部材の落下防止対策は、事前に作成した施設整備計画に基づき整備を進めてきた。</p> <p>この施設整備計画期間の終了後に、計画の目標達成状況等について事後評価を行い、評価結果を公表するとともに、文部科学大臣に報告することになっている。</p> <p>このたび、令和元年度から令和3年度を計画期間とする羽生市公立学校等施設整備計画の達成状況等について、事後評価を行ったので報告する。</p> <p>対象となる事業および執行年度は、令和2年度実施事業が羽生市立南中学校屋内運動場天井材落下防止ネット設置等工事と羽生市立東中学校屋内運動場天井材落下防止ネット設置等工事、令和3年度実施事業は羽生市立西中学校特別教室空調機設置工事、羽生市立南中学校特別教室空調機設置工事及び羽生市立東中学校特別教室空調機設置工事である。</p> <p>評価は担当の自己評価、外部評価者による評価、施設利用者からの意見により行った。各工事における自己評価は、設計工事とも計画通りに実施ができ、非構造部材の落下防止や、中学校特別教室の機能向上が完了した。</p> <p>施設利用者からの意見は、先生方に生徒の感想を含め、好評だった。</p> <p>外部評価による客観的な評価は、教育委員会事務事業点検評価において評価した。</p> <p>評価の結果、屋内運動場は地震による非構造部材の落下防止、エアコンは施設の機能向上という目標を達成した。</p> <p>なお評価については、今後、市のホームページでも公表する。</p> <p>報告事項2、3について、学校教育課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 小・中学校における 第1学期の表彰等の 結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>県大会入賞等以上について、小学校では全校において埼玉県硬筆中央展覧会で多数の表彰があった。また、川俣小学校では、2年生児童が身体障害者福祉のための第64回埼玉県児童生徒美術展で特選を、手子林小学校では6年生児童が柔道の大会で第一位となり表彰された。</p> <p>中学校では、埼玉県硬筆中央展覧会で各学校が表彰された他、埼玉県学校総合体育大会において、西中陸上競技、南中水泳競技、サッカー、東中剣道が表彰された。なお、西中陸上、南中水泳競技は関東大会に出場し、西中陸上男子400mは予選リーグ3位、南中水泳競技は平泳ぎ200mで第2位となった。</p>
<p>報告事項3 令和4年度羽生地区 青少年健全育成地域 フォーラムの開催要 項について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>青少年の非行問題や不登校の問題などが絶えない現状を、早急に解決するための行動や取り組みが必要とされている。そこで、羽生地区青少年健全育成地域フォーラムを10月25日火曜日に埼玉純真短期大学にて開催する。</p> <p>内容は、児童生徒の実践発表の他、埼玉県警サイバー犯罪対策課の職員による講演「出会い系サイト・SNSに係る諸事件とその対策」を予定している。なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者の人数を制限し、これまでの規模を縮小して開催する。</p>
<p>報告事項4 令和4年度 給食セ ンター職員等による 学校訪問について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項4について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
	<p>学校給食センター所長</p>	<p>趣旨は、栄養技師・調理員・学校給食センター職員が学校訪問し、給食を生きた教材として活用した「食に関する指導」を行うとともに、給食状況を把握し児童生徒との交流を図ることである。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、また感染状況を見ながら、令和4年度・5年度の2年間で市内全校を訪問する。</p> <p>日時は令和4年10月から令和4年11月まで、小・中学校の給食開始時間の15分前から給食時間終了までである。内容は、</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 公民館の有料化について</p>	<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>食育指導、給食時間の見学、配膳室における衛生管理指導である。また、訪問予定校実施計画により実施し、川俣小学校は10月18日の給食センター見学時に実施する。</p> <p>報告事項5から8について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>令和4年8月定例教育委員会において、議案第45号「議会の議決を経るべき議案について（羽生市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例）」が可決され、議案を市長へ送付した結果を報告する。</p> <p>まず、議案の取り扱いは、送付した羽生市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例の他、市内公共施設の有料化、又は使用料金の値上げに係る議案、4議案については、9月定例市議会の提出を取りやめることとなった。</p> <p>理由は、公民館の有料化について、各公民館運営審議会委員への説明会を開催し、その中の意見をはじめ、各方面から寄せられた声を踏まえ、庁内で再検討した結果、市民への理解に時間が必要であると判断されたことによるものである。公民館の有料化については、一旦白紙に戻すこととなった。</p>
<p>報告事項6 令和4年度（第12期） 子ども大学はにゅうの結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>開催日時は、令和4年8月18日木曜日 9時から午後4時半まで、1日での開催となった。会場は埼玉純真短期大学と株式会社東亜酒造で、市内の小学生4年生から6年生を対象に定員15名で募集したところ、23名の応募があり抽選となった。コロナ禍だが、最終的に14名が参加した。</p> <p>講義内容は、今年度は三つの講義を行った。一つ目は、「【ふるさと学】はにゅうの産業と歴史を知ろう～お酒作り400年！ウイスキーづくり復活に挑戦～」と題し、株式会社東亜酒造を訪問した。同社の歴史やお酒作りについての講義の後、昨年完成したウイスキーの蒸留所などを見学した。二つ目は、「【はてな学】立体パズルをつくろう-木製ソーマキューブ-」と題し、ものづくり大学から講師を招き、27個の木製ブロックを使って</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 自生地見学会「宝蔵寺沼ムジナモ自生地を訪ねる」の結果について</p>	生涯学習課長	<p>立体パズルを制作した。三つ目は、「【生き方学】赤ちゃんのお世話をしてみよう」と題し、埼玉純真短期大学の先生と生徒を講師に赤ちゃんの人形を使って沐浴体験を実施した。最後に学習のまとめを行い、子どもたちがそれぞれ講義の途中で自分で作成した写真からお気に入りの写真を選び、修了式において一人一人から感想を発表した。なお、埼玉新聞に、内容が記事として掲載された。</p> <p>実施後のアンケートでは、参加人数 14 名に対し 12 人から回答を得、とても満足と回答した児童が 10 人と非常に高く、保護者からは当日、とても生き生きとした顔で帰ってきたという感想が多く、非常に満足度の高い講義だったと感じている。</p> <p>今年度の自生地見学会は 6 回開催し、より多くの方に参加していただくため、8 月 7 日は日曜日の開催とした。自生地見学会の様子が新聞 4 社及び NHK で放映されたこともあり、市外からの参加者も非常に多く延べ 82 名の一般参加があった。</p> <p>来年春に放映予定の NHK 朝ドラ「らんまん」では、ムジナモを国内で初めて発見した牧野富太郎博士が主人公のモデルであることもあり、引き続きムジナモ自生地の PR 活動に努める。</p>
<p>報告事項8 第20回羽生市文化祭の開催について</p>	生涯学習課長	<p>羽生市文化祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和 2 年度、令和 3 年度は延期したため、3 年ぶりの開催である。開催日時は、11 月 12 日午前 9 時から午後 5 時まで及び 13 日午前 9 時から午後 4 時までで、会場は羽生市民プラザである。内容は、茶道協会による茶会を中止し、将棋連盟による大会への参加者を市民及び支部会員に限るなど、一部縮小して開催をする予定である。また、20 回目という節目を迎えることから、文化団体連合会の記念誌を作成し配布する予定である。</p> <p>今後、感染状況の拡大により、再度延期する可能性もあるが、開催に向けて準備を進めている。</p>
	教育長	<p>報告事項 9、10 について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 羽生市民体育祭の事業終了について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>羽生市民体育祭は、市民の健康維持を目的とする体力づくり運動の推進と、地域のコミュニケーションづくりの振興のため、昭和62年から開催してきた。開催にあたっては、市体育協会をはじめ、各地区の協力、参加で実施してきた。このような趣旨で35年間開催してきた市民体育祭だが、この度、関係団体と検討を重ねた結果、事業を終了することとした。</p> <p>判断に至る主な理由は、少子高齢化等により各地区から役員や選手を選出することが困難になったこと。それによる各地区の負担感の増加である。他方、市民の価値観が多様化し、地区対抗という形で、皆が集まって競い合うことが、市民に求められなくなってきたこともある。このように、時代の流れとともに、市民体育祭を取り巻く状況が大きく変化し、今後も従来の形のまま継続して実施していくことが大変困難になった。これらことから総合的に勘案し、羽生市民体育祭は、これまでの取り組みの中で、所期の目的を達成したものと捉え、事業終了することとした。</p> <p>今後は、市民がスポーツやレクリエーションを気軽に体験できる新たなイベントを来年度に向けて検討する。併せて、各地区で実施する地域スポーツの推進についても、引き続き支援していく。</p>
<p>報告事項10 埼玉県レクリエーション大会inはにゅうの開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>県内のレクリエーション団体の相互交流や、地域のレクリエーション運動の推進と普及・振興を図ることを趣旨としている。昭和38年から県内の自治体を会場として開催し、本市では今回初開催である。</p> <p>市レクリエーション協会やスポーツ推進委員会を中心とした実行委員会により、現在準備を進めている。開催日は、令和4年11月27日日曜日で、午前中は総合開会式を羽生市産業文化ホールにおいて開催し、午後は種目別交歓会・講習会を市内各会場において実施する。市内九つの会場において、全16種目団体の交歓会・講習会を開催する。本市からは、フロアカーリング協会が参加する。</p> <p>本事業と併催の埼玉県スポーツフェスティバル2022in羽生の</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項11 その他	教育長	<p>開催方法（案）は、埼玉県が開催するイベントになり、このイベントを通し、市民にレクリエーションに関心を持ってもらえる機会を提供することで、スポーツレクリエーション活動の推進に繋がっていきたいと思っている。</p> <p>その他の報告について説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>新聞掲載記事を3点報告する。1点目は8月31日に三田ヶ谷小学校の児童が校内で育てたムジナモを宝蔵寺沼に放流したものである。</p> <p>2点目は新郷第二小学校が、全日本学校関係緑化コンクールで第2位の国土緑化推進機構会長賞を、併せて世界児童画展団体の部でも文部科学大臣賞を受賞し、市長へ表敬訪問したものである。</p> <p>3点目は、南中学校の生徒が第46回関東中学校水泳競技大会において、平泳ぎ100mで2位、平泳ぎ200mで10位入賞したものである。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>郷土資料館の常設展示が、8月19日の埼玉新聞に掲載された。田舎教師の関連資料や市内で出土した考古資料の展示である。今回から学芸員の特設コーナーを始めた。新聞掲載当初は徳利の展示だったが、現在は収蔵資料に見るアジア太平洋戦争期の羽生と題し、兵士の無事帰還を祈って作られた千人針や訓練に使用された木製銃などを展示している。展示期間は10月30日日曜日までである。</p>
	教育長	<p>報告事項に関し、質問・意見を求めた。</p>
	平野委員	<p>市民体育祭についてである。時代の流れとともに仕方がない。物事は終わる方が難しいので、ご苦労様でした。</p> <p>埼玉県レクリエーション大会 in はにゅうとスポーツフェスティバルの位置づけについてである。市民体育祭に代わるものは</p>

会議事件名	て ん 末	
	スポーツ振興課長	<p>別ということなので、市民体育祭の来年以降のことと、埼玉県レクリエーション大会 in はにゅうと埼玉県スポーツフェスティバル 2022 in 羽生との関係について教えていただきたい。</p>
	高瀬委員	<p>羽生市民体育祭の次の形となるスポーツイベントについては、来年度に向けて、現在、検討会を設けて進めている。</p> <p>一方、埼玉県レクリエーション大会については、埼玉県レクリエーション協会の加盟団体の種目の開会式や交歓会などを 1 日限りのイベントとして、毎年持ち回りで県内の自治体で開催されるものである。羽生市民体育祭は事業終了となったが、埼玉県レクリエーション大会 in 羽生が、レクリエーションとして市内で開催されるものである。</p>
	スポーツ振興課長	<p>35 年間で終わるのは残念である。事業が終了になることについて、実行委員会の開催数とその内容について教えていただきたい。</p>
	高瀬委員	<p>市民体育祭は、実行委員会形式で 35 年間開催してきた。今回の事業終了については、70 人から 80 人の実行委員を集めての検討は難しいので、構成団体の代表者、合計 15 名で検討した。</p> <p>体育振興会長会議の中で 2 回、体育振興会長会議に合わせて体育協会の代表、スポーツ推進員の代表、自治会連合会の代表等で集まり 2 回、合計 4 回の会議の中で検討した。当初、できるだけ内容、形を変えてでも、全地区揃っての開催を模索するところから検討したが、特に各地区の負担感というもの非常に大きく、形を変えての開催が困難という結論になった。</p> <p>来年度の検討について、2 回会議を開催した。その中では、自由に参加できる体験型や自由参加型、そういったスポーツ・レクリエーションイベントを一から立ち上げて準備している。</p>
	柿沼委員	<p>35 年間本当にお疲れ様でした。小学生の対抗リレーでは、小学生たちにとっては記録会と同じ内容だが、選手や補欠の人たちも集まり大人たちに混ざってドキドキする。そういう中で走るという、すごくいい体験をさせる機会であったと思う。</p> <p>他方で新郷第一小学校にとっても足の速い児童がいて、校長先生の話では全国大会に行くという走りを見せてもらったことが</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="491 622 608 651">岩崎委員</p> <p data-bbox="491 1245 624 1274">生涯学習課長</p> <p data-bbox="491 1630 608 1659">柿沼委員</p> <p data-bbox="491 1771 624 1800">生涯学習課長</p>	<p data-bbox="643 286 1445 365">あったが、圧倒的にレベルが違う。そういう走りを大人でも見る機会があつてよかつたと感じる。</p> <p data-bbox="643 383 1445 555">大人たちも終わった後に、地区で集まり、いろいろな話ができ、地域コミュニティを作る場面だった。大人たちも子どもたちもそういう機会があつた。それに代わる何かを、これから作っていただきたい。</p> <p data-bbox="643 622 1445 745">子ども大学はにゆうについてである。工場見学も、講義もとても有意義だったということで、子どもたちが楽しく参加している様子が伝わってきた。</p> <p data-bbox="643 763 1445 842">記事に子どもたちが20歳になったときにウイスキーがプレゼントされるとあるが、記憶に残る貴重な経験ができたと思う。</p> <p data-bbox="643 860 1445 983">立体パズル木製のソーマキューブ、沐浴体験は、考える力に繋がる生きる力に繋がるとてもいい経験ができた。講座のタイトルも面白いと感じた。</p> <p data-bbox="643 1001 1445 1173">一つ残念なのは申込人数23名のところ、抽選で来られなかった方がいたことである。感染対策等で、イベントの企画では定員というのは必要で、やむを得ないところではあるが、学びたいというのに断るのは残念だった。</p> <p data-bbox="643 1240 1445 1364">私も当日参加し、非常に子どもたちが生き活きと参加していた。最後の発表では自分の興味のあるものを奇麗にまとめ、堂々と発表しており良かった。</p> <p data-bbox="643 1382 1445 1460">人数は実行委員会で何度も検討したが、使用している会場の定員の半分ということもあり、15人が限界で昨年も抽選だった。</p> <p data-bbox="643 1478 1445 1556">コロナ禍が明けて、多くの子どもたちが参加できるような状況になればと思う。</p> <p data-bbox="643 1624 1445 1702">公民館の有料化について。説明会ではどんな意見があつたのか。</p> <p data-bbox="643 1769 1445 1892">一番大きかつた意見は、「説明が唐突すぎる」「突然すぎる」であつた。また、公民館の施設の特徴として、社会教育施設で地元に着している施設であり、「無料で」という意見もあつた。</p> <p data-bbox="643 1910 1445 1989">料金の改正を行う時、その手順が難しい。今回はイメージとしてあまりにも唐突感が大きかつたことを反省点としている。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和5年度当初教職員人事異動の方針 (案)</p>	柿沼委員	<p>公民館のこれからのあり方、防災拠点を含めた中で、地域の主体となっていく場面があった場所だと思う。それを踏まえて話をしていかななくてはならない。</p> <p>教育委員会の枠を超えて、市長部局と話し、推進していただきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>公民館のあり方は、議論しなければならないが、利用形態から見ると、もっと広く開かれた公民館、そして地域の方が活用しやすい公民館、各公民館も地域活動センターとして地域の活性化、また防災の拠点として、それらも含めて今後のあり方を検討していく。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	教育長	<p>協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>本市の基本方針は、五つである。一つ目は、埼玉県教育委員会の「令和5年度当初教職員人事異動の方針」及び「令和5年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を踏まえながら、円滑、適正な人事を行うこと。二つ目は、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、特色ある学校作りを推進すること。三つ目は、適材適所の人事配置。広範かつ適正な異動を推進すること。四つ目は、再任用職員の適正配置。五つ目は、可能な範囲での新採用教職員の任用により、学校の一層の活性化を図ることである。</p> <p>退職については、職員の定年等に関する条例の定めによる他、職員の年齢構成不均衡を解消するため、勸奨退職制度の活用を図ることとした。</p> <p>転任・転補については、基本方針を踏まえて行う。適材適所の人事配置を行うことは勿論だが、学校間の均衡に十分留意し、</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第50号 羽生市立公民館運営 審議会委員の委嘱に ついて</p>	教育長	<p>教職員組織の充実及び教職員の職務経験を豊かにするための人事交流も積極的に行うこととした。併せて、学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校10年以内の異動を特に同一校勤続7年以上の者については積極的に異動を行うこととする。なお、転任・転補のうち、新採用教職員については、これまでは採用後5年以内に異動を行うこととしていたが、県の異動方針が採用後6年以内と改正されたことから、本市の方針も合わせて6年以内とした。</p> <p>協議事項1について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第50号について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>同委員に欠員が生じたことから、羽生市公民館運営審議会設置条例第2条第2項の規定により、三田ヶ谷公民館運営審議会委員を委嘱することについて、議決を求めるものである。</p> <p>任期は前任者の残任期間である令和5年3月31日までである。</p>
	教育長	<p>議案第50号について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第50号については、よろしいか。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第51号 羽生市立郷土資料館 運営委員会委員の委 嘱について</p>	教育長	<p>異議なしの声あり</p> <p>議案第50号は、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第51号について図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>6月定例教育委員会において、任期満了に伴い同委員会委員5名の委嘱が可決したが、前期と比べ1名減となっていた。郷土資料館運営のさらなる充実を図るため、郷土資料館条例第8条の規定により、羽生市立郷土資料館運営委員会委員を委嘱することについて、議決を求めるものである。</p> <p>任期は令和4年10月1日から令和6年6月30日までである。</p>
	教育長	<p>議案第51号について、質問・意見を求めた。</p>
	高瀬委員	<p>候補者の居住地はどちらか。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>居住地は選考の基準の対象外なので把握していない。</p>
	教育長	<p>議案第51号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第51号は、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>10月定例教育委員会は、10月12日水曜日 午後1時30分より、301会議室にて開催する。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉会	教育長	閉会を宣した。 教育長 _____ 委 員 _____ 委 員 _____ 書 記 _____